

# “ともに歩む”ということ

## — 意思決定を支えるナースのやくわり —

### 北海道医療大学名誉教授 石垣靖子先生

看護師の役割としてますます重要となる意思決定支援と、そこで直面する臨床倫理に関わる問題は、看護実践における重要かつ難しい課題です。今回これらのテーマについて臨床倫理の第一人者である石垣靖子先生にご講演いただきます。

#### 講演要旨より

医学や医療技術の進歩に伴って例えばがんと診断されても長期生存が可能になってきました。その折々に病態や病状の変化、家族の事情などの生活上の変化、仕事や役割、収入など社会的な事情も同じではありません。また、新しい治療の進歩もあり、その時々那人に適った意思決定が求められます。その折々の意思決定支援の在り方が、やがてくる人生の最終段階への準備となります。

すなわち意思決定支援は継続してその人と“ともに在り”続けながら、“共に歩み”続けていくことではないでしょうか。人生の途中のあるエピソードの決定だけを意味するのではなく、常に進行形 “ing” なのです。

「生活の営みを整える」という本質的な役割を担うナースは、その人の人生（生活）と共に在り続け、共に歩みながら、その人の人生にコミットしながら、自分の人生も変わっていくという体験を繰り返しているのだと思います。



日時

2022年2月15日（火） 18:00～19:30

会場

名古屋市立大学 さくら講堂（Zoom遠隔ライブセミナー併用）

対象  
人員

看護職者、保健医療福祉関係職者 300人  
（先着順、事前申込みが必要。申込締切：1月17日）

参加費

1,000円（なごや看護学会会員は500円。振込締切：1月25日）

ホームページ

<http://www.nagoya-cu.ac.jp/nurse/center/index.html>

詳しい申込み方法につきましては  
看護実践研究センターホームページをご覧ください。

看護実践研究  
センター  
QRコード



#### ●問い合わせ●

名古屋市立大学 看護実践研究センター  
〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1  
E-mail [n.center@med.nagoya-cu.ac.jp](mailto:n.center@med.nagoya-cu.ac.jp)  
TEL 052-853-8042 052-853-8037（不在時）

